



2019年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月10日

上場会社名 株式会社湖池屋
 コード番号 2226 URL <https://koike-ya.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 副本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 小池 孝
 (氏名) 金子 恭一
 TEL 03-3979-2116

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績(2018年7月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	25,513	8.9	385		447		214	
2018年6月期第3四半期	23,420	0.4	21		34	86.8	54	

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 253百万円 (%) 2018年6月期第3四半期 1百万円 (98.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	40.25	
2018年6月期第3四半期	10.28	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	23,004	12,084	52.1
2018年6月期	22,947	12,104	52.3

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 11,993百万円 2018年6月期 12,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期		0.00		47.50	47.50
2019年6月期		0.00			
2019年6月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,980	5.4	600	121.7	630	73.1	300	118.2	56.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期3Q	5,335,000 株	2018年6月期	5,335,000 株
期末自己株式数	2019年6月期3Q	843 株	2018年6月期	775 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期3Q	5,334,212 株	2018年6月期3Q	5,334,225 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業における生産性向上や省力化などの設備投資の増加や、雇用及び所得環境の改善効果もあり、緩やかな回復基調で推移しています。一方で、個人消費については耐久財の低下傾向が見られたものの、サービス消費の上昇が全体を押し上げ底堅く推移しました。しかし、未だ消費マインドの回復には至らず、貿易摩擦の激化など、景気の先行きは楽観できない状態が続いています。

このような状況の下、当社は主力事業であるスナック部門のマーケティング戦略として、高付加価値製品展開によるポテトチップスの価値向上、既存ブランドの活性化を主軸とした施策を積極的に推し進め、事業活動を展開しました。

ポテトチップスの価値向上推進策としては、2018年10月にリニューアルした「KOIKEYA PRIDE POTATO」を2019年2月に増量施策を実施することで市場拡大を推進するとともに、3月には本格食材の旨みに調理感を加え贅沢に味わう本格食材シリーズ「KOIKEYA PRIDE POTATO 大漁 海老祭り」、「同 芳醇 重ね茶塩」、「同 豪快 黒毛和牛」を新たに発売し、ブランド強化に努めました。

また、じゃがいもの素材本来の味わいが楽しめる高付加価値製品として2015年9月から期間限定にて展開している「じゃがいも心地」ブランドにつきましても、2018年9月のリニューアル実施後より好調な売上を持続していることに加え、お客様からの継続販売要望もあり、2019年3月より通年製品として販売を開始しました。

既存ブランドの活性化策としましては、1987年の発売以来コーンスナック市場を牽引しているロングセラーブランド「スコーン」のフルリニューアルを2019年2月に実施しました。新たに「スコーン がつつきバーベキュー」、「同 どはまり濃いもろこし」、「同 憧れのクアトロチーズ」をメインフレーバーとし、味、パッケージデザインを大幅に刷新するとともにタレントを起用した広告宣伝を行うことでブランド強化と拡販に努めました。

また、独創的なオリジナルブランドとして辛味、酸味系スナック市場を牽引している「ムーチョ」ブランドにつきましても、1月に「すっぱムーチョ うめかわいいはちみつ梅」、2月に「カラムーチョチップス ガーリックシュリンプ」、3月には「スティックカラムーチョ」ブランドの増量施策を実施し、既存ブランドの強化に取り組みました。

以上のような積極的な商品施策が奏功したことで、国内スナック事業の売上高は前年同期比を大きく上回りました。

海外事業につきましても、台湾事業がおおむね好調でしたが、ベトナム事業が引き続き改善を要する状況となりました。台湾事業におきましても、馬鈴薯不足に対応するため、ポテトチップスの過度な販促を控え利益確保を優先する一方、「ポリンキー」などの馬鈴薯原料以外の製品の拡販に努めたことで、引き続き好調に推移しました。ベトナム事業におきましても、第2四半期までの原料面での課題が順次解消し、売上増に対応するための設備投資を行ったほか、製品面では基幹ブランドである「KARAMUCHO」に2製品を追加するとともに、より低年齢層の顧客をターゲットとした「KoiMUCHO」を上市し好評を得ました。しかしながら、営業効率やコスト面に課題があり、損益面では利益圧迫要因となっております。

以上により、スナック部門の当第3四半期連結累計期間の売上高は、25,341百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

タブレット部門につきましても、お口の環境バランスサポートに貢献する「乳酸菌LS1」において2019年1月に約3年ぶりとなるブランドリニューアルを実施し、予防歯科に興味を持つ顧客の獲得を強化すべくマーケティング戦略を推進しました。また、タブレット菓子「ピンキー」ブランドにつきましてもは終売しております。

以上により、タブレット部門の当第3四半期連結累計期間の売上高は、171百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、25,513百万円（前年同期比8.9%増）となりました。利益につきましても、営業利益385百万円（前年同期は営業損失21百万円）、経常利益447百万円（前年同期は経常利益34百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益214百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失54百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ56百万円増加し、23,004百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加(294百万円)及び受取手形及び売掛金の増加(291百万円)が、有価証券の減少(399百万円)を上回ったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ76百万円増加し、10,919百万円となりました。主な要因は、未払金の増加(804百万円)が、買掛金の減少(433百万円)及び未払法人税等の減少(269百万円)を上回ったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ19百万円減少し、12,084百万円となり、自己資本比率は52.1%となりました。主な要因は、利益剰余金の減少(38百万円)が、退職給付に係る調整累計額の増加(17百万円)を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年8月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,994,713	5,289,709
受取手形及び売掛金	6,010,057	6,301,369
有価証券	399,994	—
商品及び製品	547,199	720,379
仕掛品	6,055	19,612
原材料及び貯蔵品	886,980	496,554
その他	327,202	308,088
貸倒引当金	△3,234	△2,725
流動資産合計	13,168,968	13,132,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,160,754	2,076,119
機械装置及び運搬具（純額）	2,303,691	2,304,825
土地	1,558,433	1,594,543
その他（純額）	111,474	209,305
有形固定資産合計	6,134,354	6,184,795
無形固定資産		
その他	189,977	173,463
無形固定資産合計	189,977	173,463
投資その他の資産		
投資有価証券	2,221,480	2,211,903
その他	1,233,134	1,301,068
投資その他の資産合計	3,454,614	3,512,972
固定資産合計	9,778,946	9,871,230
資産合計	22,947,915	23,004,221
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,372,680	3,939,298
未払金	3,148,816	3,953,682
未払法人税等	364,882	95,323
賞与引当金	7,179	294,997
役員賞与引当金	—	14,175
その他	708,614	392,673
流動負債合計	8,602,173	8,690,150
固定負債		
役員退職慰労引当金	366,417	332,826
退職給付に係る負債	1,749,693	1,767,124
その他	125,518	129,766
固定負債合計	2,241,628	2,229,717
負債合計	10,843,801	10,919,867

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,269,591	2,269,591
資本剰余金	2,153,976	2,153,976
利益剰余金	7,773,018	7,734,324
自己株式	△2,142	△2,477
株主資本合計	12,194,442	12,155,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,286	31,283
為替換算調整勘定	△74,833	△67,292
退職給付に係る調整累計額	△144,272	△126,359
その他の包括利益累計額合計	△185,819	△162,369
非支配株主持分	95,490	91,309
純資産合計	12,104,113	12,084,353
負債純資産合計	22,947,915	23,004,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
売上高	23,420,150	25,513,403
売上原価	14,399,882	15,889,273
売上総利益	9,020,268	9,624,130
販売費及び一般管理費	9,042,172	9,238,374
営業利益又は営業損失(△)	△21,903	385,755
営業外収益		
受取利息	10,275	11,294
損害賠償金収入	2,626	17,647
その他	51,777	40,197
営業外収益合計	64,679	69,139
営業外費用		
支払利息	3,229	2,034
支払手数料	3,774	4,269
その他	925	1,385
営業外費用合計	7,929	7,689
経常利益	34,846	447,206
税金等調整前四半期純利益	34,846	447,206
法人税、住民税及び事業税	274,413	253,921
法人税等調整額	△212,209	△37,813
法人税等合計	62,204	216,108
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,358	231,097
非支配株主に帰属する四半期純利益	27,477	16,415
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△54,836	214,681

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,358	231,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,405	△2,002
為替換算調整勘定	2,925	6,006
退職給付に係る調整額	18,189	17,912
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,350	265
その他の包括利益合計	29,169	22,181
四半期包括利益	1,810	253,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,809	238,131
非支配株主に係る四半期包括利益	29,620	15,147

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社の在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より「顧客との契約から生じる収益」(IFRS第15号)を適用しております。顧客に対する一部の支払について、従来、販売費及び一般管理費としておりましたが、第1四半期連結会計期間より売上高から控除しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高及び販売費及び一般管理費はそれぞれ431,766千円減少しております。なお、本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。